

# 薬草園かわらばん

皆さ～んちょっと覗いてみませんか？  
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2017年  
11月10日  
第28号



## サフラン (アヤメ科)

園内、薬木区西エリアの林床のあちらこちらで淡紫色のロート状の花が目に入ります。晩秋から初冬にかけて咲き、黄色の雄しべと紅色で先が3つに割れた雌しべを有しています。葉は細い線形で花が終わると急に成長します。

ヨーロッパ南部原産で日本には江戸時代に渡来。雌しべの先端部分がサフランという生薬となり、鎮静薬、婦人病用薬として用います。また、料理の色、風味つけにも利用します。紅色色素は、クチナシ果実と同じでクロシンです。サフランは長期保存が難しい生薬でもあります。



## サザンカ (ツバキ科)

九州、四国に野生する常緑樹で、本州に生えるものは栽培のもので、ヤブツバキとよく似ていますが、違いは花弁がばらばらに落ち、葉柄や葉の裏面の脈上に細かなあらい毛があることです。野生種は白色の花ですが、栽培種は多彩なので、鑑賞用として、生垣などに植えられます。種子を椿油の原料にし、軟膏基剤などに用います。

今、こんな草木が楽しめます  
待ってまーす！！